

科目名称	成人老年看護実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前・前期		95
担当教員	井上智子 川崎由希 林厚子 村上あゆみ 山本はる子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】概要

基礎看護実習を基盤とし、成人・老年期の特徴を踏まえて健康障害のある対象を理解し、対象に応じた看護を学ぶ。患者とその家族とのよりよい人間関係を築き、対象に応じた適切な援助ができる能力を習得する。

【2】学習目標

1. 対象および対象をとりまく環境について理解できる。
2. 対象がどのような健康障害をきたしているか理解できる。
3. 対象に必要な日常生活援助を、個別性を考慮して安全・安楽に実施できる。
4. 対象におこなわれている治療・処置に関連する必要な援助について理解できる。
5. 保健・医療・福祉チームにおける看護職の役割を理解し、基本的な態度を身につけることができる。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力

- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。

II. 看護を実践する力

- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
- 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
- 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。

III. 人間関係を構築する力

- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
- 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。

IV. 主体的に学び続ける力

- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解している。
- 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】授業計画

	内 容	授業形態
実習前	1. 成人・老年看護学実習Ⅱの実習概要についてオリエンテーションを受ける。 2. 実習に必要な事前学習を行う。 3. 看護技術の総合演習を行い基礎看護技術の復習を行う。	学内オリエンテーション 校内実習
実習 1 週目	1. 病院・病棟オリエンテーションを受け、病棟の特殊性や受け持ち患者の生活の場を理解する。 2. 受け持ち患者の全体像を把握する。 3. 受け持ち患者の個別性をとらえたアセスメントをする。 4. 受け持ち患者の日常生活の援助を実施する。	実習 学内実習
実習 2 週目	1. アセスメントの修正を行う。 2. 援助の方向性に基づき優先順位を考慮しながら援助を実施する。 3. 医療チームとの連携やチームのなかでの看護師の役割について学ぶ。 4. 未経験の学習内容や不足している学習内容を自主的に実施する。 5. カンファレンスに積極的に参加し、主体的に運営する。 6. 学びをまとめ、自己の課題を明確にする。	実習 学内実習

【5】評価方法

成人老年看護実習の評価基準表に沿って、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後の学習状況から、学生・教員・臨地実習指導者で評価を行う。

【6】教科書

各看護の授業科目で使用した教科書を使用する。

【7】参考書

参考書は指定しない。随時指示します。

【8】受講生へのメッセージ

基礎看護実習の学びを踏まえて学びを深めましょう。

科目名称	成人老年看護実習Ⅳ(老健施設)	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期		95 のうち 27
担当教員	井上智子 川崎由希 林厚子 村上あゆみ 山本はる子	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (看護師) ☐ 無	

【1】 概要

成人・老年看護実習Ⅰ～Ⅳを包含した実習といたうで対象を生活者として捉える実習と位置付ける。
 病院や老健施設での実習をとおして病院以外の療養生活を送る場およびその環境について学ぶ。
 地域で療養する対象やその家族が抱える問題を身体的・精神的・社会的側面から理解し、対象に必要な看護を学ぶ。
 地域で療養する対象やその家族を支える保健・医療・福祉チームの働きや看護師の役割を学ぶ。

【2】 学習目標

- 療養生活を送る場およびその環境について理解できる。
- 地域で療養する対象およびその家族について身体的・精神的・社会的側面から理解できる。
- 対象の健康状態にあわせた日常生活の援助方法を学ぶ。
- 地域で療養する対象とその家族を支える保健・医療・福祉チームの働きや役割が理解できる。
- 保健・医療・福祉チームにおける看護職の役割を理解し、基本的態度を身につけることができる。
- 看護職としての責任を自覚し、主体的に学習することができる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- Ⅰ．人に関心を持ち多様な人間を理解する力
- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- Ⅱ．看護を実践する力
- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- Ⅲ．人間関係を構築する力
- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- Ⅳ．主体的に学び続ける力
- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解している。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内 容	授業形態
実習前	1. 成人・老年看護学実習Ⅳの実習概要についてオリエンテーションを受ける。 2. 実習に必要な事前学習を行う。	学内オリエンテーション 校内実習
実習中	1. 施設でのオリエンテーションを受け、施設の特異性や対象者の療養生活の場を理解する。 2. 対象者のセルフケア向上に必要な日常生活援助方法を見学を通して学ぶ。 3. 対象者の地域での療養生活を支える保健・医療・福祉チームの働きや役割を明らかにする。 4. 保健・医療・福祉チームにおける看護職の役割を理解する。	老健施設実習
実習後	1. カンファレンスに主体的に実践し、臨地実習の学びをメンバーと深める。 2. 実習での学びをまとめ、自己の看護体験に基づいた看護観を言語化する。	学内実習

【5】 評価方法

成人老年看護実習Ⅳの評価基準表に沿って、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後の学習状況から、学生・教員・臨地実習指導者で評価を行う。

【6】 教科書

各看護の授業科目で使用した教科書を使用する。

【7】 参考書

参考書は指定しない。随時指示します。

【8】 受講生へのメッセージ

基礎看護実習の学びを踏まえて学びを深めましょう。